

# 安全データシート

整理番号 : ALI10PAG

作成 : 1996年 5月13日  
R3 : 2022年 1月11日

## 1 化学物質等及び会社情報

### 製品情報

製品名 : AlSb アンチモン化アルミニウム Aluminum antimonide

カタログ#	純度	形状	備考
ALI13GB	99.95% (3N5)	塊状	—
ALI12PB	3N5	粉末	—
—	99.9% (3N)	タブレット及びターゲット	各種サイズ

### 会社情報

会社名 : 株式会社 高純度化学研究所  
住所 : 〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28  
電話 : 049(284)1511 FAX : 049(284)1351  
作成部門 : 品質保証部

推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用

## 2 危険有害性の要約

GHS分類 有害性の分類はEU分類に従った。

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
急性毒性(経口) : 区分4 急性毒性(吸入-粉塵) : 区分4	水生環境有害性 長期(慢性) : 区分2	可燃性固体 : 区分外 自然発火性固体 : 区分外 自己発熱性化学品 : 区分外 水反応可燃性化学品 : 区分外

GHSラベル W, V



絵表示

注意喚起語 **警告**

危険有害性情報	注意書き
飲み込むと有害 吸入すると有害 長期的影響により水生生物に毒性	粉塵, ミストの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避け、漏出物を回収すること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、楽な姿勢で休息させる。 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。 暴露した時、または気分が悪い時は医師に連絡すること。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報 : ・ 労働安全衛生法 表示・通知対象物(アンチモン及びその化合物)  
・ 毒物及び劇物取締法 劇物(アンチモン化合物及びそれを含有する製剤)

その他の危険有害性 : ・ 火災時に有毒なガスやヒュームが発生するおそれがある。  
・ その他、該当項目に参考情報を記載した。

## 3 組成, 成分情報

化学名 : アンチモン化アルミニウム  
化学式 : AlSb

PRTTR法に基づく表示 : アンチモン含有率 ; 82%

官報公示整理番号 : ・ 化審法 対象外 (元素)

単一製品, 混合物の区分 : 単一製品

Aluminum antimonide

組成 : 100 %

CAS# : 25152-52-7

RTECS# : 登録なし

TSCA : 登録

EINECS : 2466673

#### 4 応急措置

- 目に入った場合：・ 流水で眼を最低15分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。
- ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。
- 皮膚に着いた場合：・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく落とす。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。
- 吸入した場合：・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。
- ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。
- 飲み込んだ場合：・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

#### 5 火災時の措置

- 一般的注意：・ 表題製品は消防法の非危険物である。
- ・ 消火の際には必ず保護具を着用する。
  - ・ 火災時に有毒なガスやヒュームが発生するおそれがある。
- 消火方法：・ 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火剤：・ 水噴霧、二酸化炭素、粉末、泡(耐アルコール性)、乾燥砂

#### 6 漏出時の措置

- 一般的注意：・ 可能であれば漏れを止める。
- 処理作業者に対する注意：・ 作業の際には保護具を着用し、粉末の付着、吸入を防ぐ。
- ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。
- 環境影響に対する注意：・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。
- もれ出た物の処理に対する注意：・ 乾燥砂等に吸収させて掃き集め、密閉できる空容器に回収。

#### 7 取り扱い及び保管上の注意

##### 取扱上の注意

- \* 一般的注意：・ 本製品は毒物劇物取締法の劇物です。取り扱いに当たっては被毒しないよう充分注意を払って下さい。
- \* 作業者の暴露防止：・ 排気装置や適切な保護具を利用し、作業者に物質が触れないよう、また物質の蒸気や粉塵を吸引しないようにする。
  - ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。
- \* 火災や爆発の防止：・ 火気、衝撃などを避け、静電気等着火源の生じないようにする。

##### 保管上の注意

- \* 一般的注意：・ 容器内部を不活性雰囲気にして密閉し、乾燥した冷暗所に施錠保管する。
  - ・ 品質保持上、成型品は未開封状態で保管してください。

#### 8 暴露防止及び保護措置

管理濃度：・ 作業環境評価基準(2020) 規定なし。

許容濃度： 下表参照 (－：記載なし)

成分名	産衛学会(2020) mg/m <sup>3</sup>	ACGIH(2019)TLV-TWA mg/m <sup>3</sup>	OSHA(2006)PEL mg/m <sup>3</sup>
機関名 アンチモン化合物 (as Sb)	0.1	0.5	0.5

TLV, PEL ; いずれも許容濃度、TWA:時間加重平均値

- 設備対策：・ 製品に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等の排気設備を使用すること。
- 保護具：・ 空気呼吸器, 防塵マスク, ゴーグル型保護眼鏡, 保護手袋 等

---

## 9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : ・ 褐色固体

化 学 式 : AlSb

式 量 : 148.7

融 点 : 1065 °C

密 度 : 4.26 g/cm<sup>3</sup>

溶 解 性

\* 水 : ・ 不溶

可燃性 : ・ 可燃性

酸化性 : ・ なし。

---

## 10 安定性及び反応性

化学的安定性 : ・ 容器内部を不活性雰囲気にして密封し、室温保存で安定である。

反応性 : ・ データなし。

(参考) ・ アルミニウムは濃硝酸を除く無機酸、アルカリ水溶液に水素を発生して溶解する。  
・ アンチモンは濃硝酸、王水、熱濃硫酸に溶解する。

\* 避けるべき条件 : ・ 空気、熱

\* 混触危険物質 : ・ 酸化剤、ハロゲン類、酸

---

## 11 有害性情報

急性毒性(経口) : ・ GHS 判定 区分4 ; 飲み込むと有害

急性毒性(吸入-粉塵) : ・ GHS 判定 区分4 ; 吸入すると有害

皮膚腐食性/刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。

呼吸器感作性/皮膚感作性 : ・ GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等(令和2年12月7日現在)に該当しない。

発がん性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 日本産業衛生学会(2020), IARC(2018), NTP(2016)及びACGIH(2019)に記載なし。

生殖毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

特定標的臓器毒性

単回曝露 : ・ GHS 判定 データなし。

反復曝露 : ・ GHS 判定 データなし。

誤えん有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

---

## 12 環境影響情報

水生環境有害性

短期(急性) : ・ GHS 判定 データなし。

長期(慢性) : ・ GHS 判定 区分2 ; 長期的影響により水生生物に毒性

オゾン層への有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ フロン, ハロンでない。

魚毒性 : ・ 現在のところ知見なし。

分解性 : ・ 現在のところ知見なし。

蓄積性 : ・ 現在のところ知見なし。

土壌中の移動性 : ・ 現在のところ知見なし。

---

## 13 廃棄上の注意

廃棄方法 : ・ 専門の業者に委託する。

特別管理産業廃棄物 : ・ 該当しない。

High Purity Materials  
KOJUNDO CHEMICAL LABORATORY CO.,LTD.

株式会社 高純度化学研究所

## 1 4 輸送上の注意

国連分類：クラス 9(有害性物質；P. G III)

国連番号：3077

輸出統計：2853. 90-000

輸入統計：2853. 90-000

## 陸上輸送：

- ・ 道路法，消防法：非危険物
- ・ 毒物及び劇物取締法：劇物 毒物及び劇物指定令第二条 アンチモン化合物及び含有製剤
- 高圧ガス保安法：該当せず。

## 海上輸送：

- ・ 船舶安全法：危険物 有害性物質 品名：環境有害物質(固体) 副次危険性：－ 容器等級：Ⅲ 積載場所 旅客船以外及び旅客が規定数以下の旅客船 甲板上/下；旅客が規定数以上の旅客船 甲板上/下
- ・ 港則法：非危険物

## 航空輸送：

- ・ 航空法：爆発物等輸送許容物件 有害性物質 品名：環境有害物質(固体) ラベル：S 等級：3

## 海洋汚染：

- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：海洋汚染物質に該当する。  
(船舶安全法の環境有害物質)

## 1 5 適用法令

## ◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：◇対象外（元素）
- ・ 労働基準法：◆業務療養補償すべき疾病を起こす化学物質等  
(アンチモン及びその化合物)
- ・ 労働安全衛生法：◆表示・通知対象物質(アンチモン及びその化合物)
- ・ 毒物及び劇物取締法：◆劇物(毒物及び劇物指定令第二条)
- ・ 消防法：◇非危険物（非届出物質）
- ・ 化学物質管理促進法(P R T R法)：◆ 第一種指定化学物質  
管理番号 31 アンチモン及びその化合物
- ・ 道路法：◇非危険物
- ・ 船舶安全法：◆危険物 有害性物質 品名：環境有害物質
- ・ 港則法：◇非危険物
- ・ 航空法：◆爆発物等輸送許容物件 有害性物質 品名：環境有害物質
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法
  - \* 輸入貿易管理令：◇自由化品目
  - \* 輸出貿易管理令：◆別表第一 該当
- ・ 環境基本法：環境基準◆大気(浮遊粒子状物質)◆水質(浮遊物質)◇土壌(一)
- ・ 大気汚染防止法：◆粉じん、ばい煙
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法：◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法：◆水質基準(浮遊物質質量)
- ・ 水質汚濁防止法：◆排水基準(浮遊物質質量)
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：◇特別管理産業廃棄物に該当しない。
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：◆海洋汚染物質に該当する。  
(船舶安全法の環境有害物質)



## 16 その他

### 参考文献：

- 1) JISZ7252 (2019) ; GHS に基づく化学品の分類方法
- 2) JISZ7253 (2019) ; GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法  
ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- 3) 事業者向け GHS 分類ガイダンス (令和元年度改訂版 (ver. 2.0)) 経済産業省
- 4) 化学物質総合情報提供システム (CHRIP ; (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE))
- 5) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 76th Ed., CRC Press
- 6) 化学大辞典 ; 共立出版
- 7) ChemIDplus ; 米国国立医学図書館 (NLM)
- 8) Landolt-Börnstein Substance/Property Index

注意事項：・ この安全データシート(SDS)は製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。製品の品質や性能、安全性(物性値、危険有害性情報等)についてはいかなる保証をなすものではありません。

記載内容は作成時点において入手可能な資料、経験に基づき作成しておりますが、情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合に修正、追加されることがあります。

ご使用の際は、使用される国、地域などの法規制情報等をご使用者において調査され、最優先していただくとともに、安全に注意してご使用ください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。